

真宗の生活

伊東憲昭

昨年は真宗コミュニティの枠を超えて、親鸞聖人が聞き続けていかれた仏教の教えを私がどのようにかかせていただいているかをお話しするご縁をたくさんいただきました。その中には他の仏教徒と同席する機会もありましたが、私の意見が他の仏教徒の方の意見と随分違うように感じることがしばしばありました。そうした体験を通して私は、浄土真宗の教えは仏教の中では特殊な教えなのだろうかかと自問するようになりまして。

つい最近、仏教とカトリックの宗教間対話のミーティングに出席した時のことです。そこで話し合われた議題のひとつはロサンゼルスにホームレスの人々のための施設を新設し、仏教とカトリックが協力してその施設を支援していくことの可能性を方向性についてでした。他の仏教徒はすぐに具体的なアイデアを提示しました。それは例えばヨガや瞑想のクラスを提供することが、彼らを助ける一助になるというような意見でした。ヨガや瞑想がホームレスの人々の生活の立て直しや他者との関係改善に有効に作用するであろうことは間違いないと思います。一方でそうした修行形

態をもたない浄土真宗はなにができるでしょう。浄土真宗における行とは日常の生活そのものである、ということはある。よくお聞きになつていくことと思えます。けれども、それは具体的にはどうということなのか、ということについてはあまり考える機会はなかったのではないのでしょうか。私は真宗の生活とは念仏とともに自らとしつかりと向き合うということではないかと思えます。それが親鸞聖人が私たちに教えてくださっている生き方であり、真宗門徒にとつての行と言えるのではないのでしょうか。浄土真宗がそうした施設の人々に提供できることは、自らの生き方を足下から見つめ直す機会をもつてもらふこと、それはいかにか私たちが自己中心の思いに立つて自らの生活や世の中を見ているかということに気づいてもらふ、そのお手伝いを

することではないかと思うのです。私たちは物事が思い通りにいかないとがっかりしたり、人が自分と違う意見をもつていたりすると、それに対して腹が立つたりします。思い通りにいかないことへの不満は積み重なり、それはやがてもうダメだという絶望や、自分一人がこんな目という孤独となつて私たちを押しつぶしていくのです。私たちは幸せとは夢や希望が叶った状態だと考えます。けれども、ここ

(3ページに続く)

行事予定

四月

- 二四日 日曜礼拝
- 二四日 花まつり
- 二七日 クラフトフェア
- 二七日 ご命日法要
- 三十日 同朋リトリート

五月

- 一日 祥月法要
- 八日 母の日朝食会
- 十五日 母の日家族礼拝
- 十五日 誕生会・初参り
- 二十二日 日曜礼拝
- 二十五日 ご命日法要
- 二十九日 日曜礼拝
- 四月
- 五日 祥月法要
- 十二日 日曜礼拝

母の日

朝食会・家族礼拝

五月八日(日)

誕生会・初参り

五月二十二日(日)

別院ニュース

母の日

母の日パンケーキ朝食会が五月八日(日曜日)にございます。午前八時半から午前九時四十五分まで(日曜礼拝開始十五分前まで)青年会が朝食をご用意いたします。母の日日曜礼拝ではメンバーの方から母親についてのお話が披露されます。どうぞ、お母様を連れてご家族一緒にご参加、ご参詣ください。

誕生会 たんじょうえ ・初参り

私たち浄土真宗の宗祖親鸞聖人は千百七十三年春、京都にお生まれになりました。聖人の誕生を記念しまして、別院では五月十五日に親鸞聖人誕生会法要を厳修いたします。なお、この法要において兼ねて初参りもお勤めいたします。初参りとは、赤ちゃんが生まれて

初めてのお寺参りのお勤めでございますが、別院では6歳まで受けつけております。参加申込みされる方は、記念品のご用意がございますので事前に寺務所にご連絡をお願いいたします。

別院ゴルフ大会

三月七日早朝、別院恒例のゴルフ大会が開催されました。

ボランティアの方々会場であるヴィアヴェルデゴルフ場に朝早くから集合し参加者八十五人を迎える用意をいたしました。開始は午前九時からですが七時半ごろには参加者が集まり始めゴルフの熱気が伝わってきました。

雨が降ったり止んだりした一日でしたが、参加者はゴルフを楽しんでいました。このゴルフ大会は、別院の修繕費および青少年活動の基金集めのイベントです。

前の日までのロサンゼルス一帯の雨が嘘のようになりました。基金のため十八ホールゴルフが始めました。各ティースポンスアーに寄附下さった方のお名前は表示させていただきます。ゴルフの後の昼食会場には、今回の大会のためにご寄附いただいた皆さんの商品が所狭しと並べられておりました。そして、司会の伊東信さんがトーナメントの結果とラッフルの当選者の名前を発表しました。

東本願寺ゴルフトーナメントは皆様のお陰で毎年大きくなっております。朝早くの準備からトーナメント中、働いて下さったボランティアの皆様、記念品を寄附下さった皆様、そして毎年この大会にご参加くださる皆様、誠にありがとうございます。来年もどうぞよろしくお願いいたします。



第十二回世界同朋大会 申し込み受付中

今年、八月二十七日、二十八日は、ヒルトンロサンゼルスユニバーサルシティ及びロサンゼルス別院を会場に『第十二回世界同朋大会』が開催されます。

この大会には、日本、ハワイ、そして南米から東本願寺の同朋(親鸞聖人の教えを聴く友たち)およそ三百八十人が集まります。是非この大会にご参加いただき、各地域の方々と交流を深め友達になつていただきたいと思ひます。英語の場合はインターネットでの申し込みとなります。online.jtbusa.com/ GROUP/DOBO/ 日本語での申し込みを希望の方は、寺務所に申し込み用紙がございます。同朋大会についてのご質問は監督部 (213-621-4064) まで。

(真宗の死活
1 ページからの続き)

に大きな落とし穴があります。それは私たちの夢や希望には終わりが無いということなんです。ひとつの夢が叶ったら、すぐに別のことが欲しくなるのが私たちです。決して満足することのない渴きに振り回されて、真の幸せを実感することなく一生が終わってしまいます。

この国では四年に一度大統領選挙が行われます。今回の選挙ではこれまでにならぬほど政治的正義がないがしろにされているのを感じます。現状に不満をもつ人々の抑制されていた感情が無遠慮に噴き出しています。人々は自分が聞きたいことを言ってくれる候補者を熱狂的に支持します。そうした人々はこの国の改善を期待すると言いますが、実際には自分にとって都合のよい状態を実現してくれることを期待しているだけなのです。

では、そうした人々を批判する私はどうでしょう。結局私も自分の思い通りの生活を望む一人に変わりありません。アメリカ人として私がこの国に、そしてこの国の政府に期待することは、助けを必要とする全ての人々に手を差し伸べる政府であり、世界の国々と思いやりをもった関係を築いてくれることです。それは私の本心ですが、だからといって私が排他的な考えの候補者やそれを支持する人々と違う人間であるということにはなりません。彼らを批判する形で、私自身も意見が異なる彼らに憤り、自分が望むこの国の方向性が正しい道と主張してやまないのである。その事実が教えてくれることは、私もやはり自己中心的な人間に間違いはないということ。このたびの大統領選挙は、釈尊が説く貪・瞋・痴の三毒がいかにか私たちに人間性を失わせ

るかということをはつきりと教えてくれていました。いのちを賜り今この瞬間を生かされている、そのことの尊さに目覚めた時、その目覚めそのものが実は仏の智慧によって賜ったものであるということに気付くのでしよう。自らはどんな行によっても覚りに近づくことも完璧な人間になることもできない身であるという事実への深い領きであります。そのような身を聖人は「煩惱具足の凡夫」「悪人」という言葉で表現されておられるのでしよう。

凡夫の自覚とは、どれだけ強く願っても思い通りに人を助けることはできないという事実を受け止めるということ。私を私より先に、そして私よりも深く悲しんでくれるはたらきに出遇うのでしよう。それを阿弥陀仏、智慧と慈悲のはたらきとして浄土真宗の歴史



はいただいてきました。慈悲とは私が人に施すものではなく、他のあらゆる人とともにいたでいていくものであります。その目覚めこそが自らの人生を有り難くいただき、他の人とともに生きるといふ親鸞聖人の歩みになつていったのではないのでしようか。



歴史を通じて浄土の道は易行であると説かれてきました。出家をして修行をする道ではありません。けれども、自らの本当の姿に出遇うということとは、他のどの道よりも困難な道であると言えるのでしよう。私が仏教を学び始めてから半世紀近くが経ちます。けれども依然として、自分が道から外れていることに気づかされるのが往往にしてあります。先生方の言葉は、私にそのことを気づかせ、私にまた仏道に戻る灯となつてくれているのを感じます。

ご命日法要

(毎月最終水曜日)
毎月月末の水曜日
午後一時より親鸞聖
人御命日法要がござ
います。どなた様も
お気軽に参加下さい。

同朋のお悔み

- 高岸美代子様
二月四日御命終 (88)
 - 弘島カイト晴海様
二月二十三日 (94)
 - 杉本瑠璃様
二月二十四日御命終 (90)
- 謹んで哀悼の意を表します。